

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 403 号	氏名	橋 詰 淳 哉
学位審査委員	主 査 河 野 通 明 副 査 植 田 弘 師 副 査 岩 田 修 永		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、細胞運動制御における ERK-MAP キナーゼ経路の具体的な役割を、その下流で機能する分子の同定、その機能解明を通して多角的に検討したもので、目的は十分に妥当である</p> <p>2 研究手法に関する評価 この種の研究成果を左右するがん細胞の維持、管理はもとより、細胞運動評価法は適切に検討されている。また、各種遺伝子操作法、ウエスタンブロット法による細胞内シグナル分子の機能変動解析、さらに免疫染色法による各分子の細胞内局在変動解析等を駆使して、様々な変異遺伝子導入後の細胞応答を詳細に解析しており、これらの手法は高く評価できる。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ERK-MAP キナーゼ経路の下流で機能する分子として SH3P2 を同定し、それは Myosin 1E との複合体形成を介して、細胞運動制御において中心的な役割を果たす事を見出した。本研究成果は、がん細胞の浸潤・転移抑制を目的とした新規治療戦略の開発に繋がる可能性が大いに期待される。</p> <p>以上のように、本論文は細胞運動制御機構の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(薬学)の学位に値するものと判断した。</p>			